

2025年(令和7年)度 事業報告書

2025 年 4 月 1 日 ~ 2026 年 3 月 31 日

2026 年 5 月 24 日

公益財団法人日米医学医療交流財団

2025年(令和7年)度事業報告書

目 次

I. 2025 年度 事業報告	1
II. 2025 年度 事業詳細	3
公益目的事業	3
(1) 団体助成	3
(2) 個人助成	6
(3) JANAMEF セミナー	8
①WEB セミナー	8
②医学留学セミナー	9
(4) 茨城県指導医団国外派遣事業支援業務	14
(5) 埼玉県トップランナー医師育成留学支援事業支援業務	14
III. 2025 年度 評議員会・理事会議事	14
IV. 組 織	17
(1) 顧問・評議員・役員名簿	17
(2) 委員名簿	18
①学術委員	18
②研修助成の選考委員	18
③研究助成の審査委員	19
④広報委員	19
(3) 事務局	19
V. 事業報告の附属明細書	20

I. 2025年度事業報告

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

2025年度事業は、2025年3月14日(土)開催の2025年度第4回定時理事会において承認された事業計画及び収支予算に基づいて実行し、その概要は以下のとおりである。

事業区分として、公益目的事業会計及び法人会計の2区分があり、本報告書はそれらの区分に基づいて作成している。

公益目的事業

○評議員会・理事会・委員会・セミナー等

1. 5月11日 第12回 WEBセミナー
2. 5月24日 第1回 定時理事会
3. 6月14日 第2回臨時理事会(決議の省略)
4. 6月14日 第1回 定時評議員会
5. 6月22日 第13回 WEB セミナー
6. 7月19日 第14回 WEB セミナー
7. 7月27日 第15回 WEBセミナー
8. 9月20日 第16回 WEB セミナー
9. 11月16日 第17回 WEB セミナー
10. 12月14日 第3回臨時理事会
11. 12月14日 第17回 WEB セミナー
12. 3月7日 第4回定時理事会
13. 3月7日 第2回臨時評議員会

○団体助成

1. 4月12日(土)～13日(日) 東京国際内視鏡ライブセミナー2025
2. 4月18日(金)～20日(日) 第125回日本小児科学会学術集会
3. 5月9日(金)～11日(日) 第109回日本消化器内視鏡学会総会
4. 5月22日(木)～24日(土) 第60回日本小児腎臓病学会学術集会
5. 6月19日(木)～20日(金) 第64回日本股関節研究会
6. 7月4日(金)～5日(土) 第30回日本緩和医療学会学術大会
7. 7月5日(土)～6日(日) 第27回日本女性骨盤底医学会
8. 9月25日(木)～27日(土) 第48回日本美容外科学会総会・第154回学術集会
9. 10月3日(金)～4日(土) 第52回日本マスキング学会学術集会
10. 10月23日(木)～25日(土) 第60回日本アルコール・アディクション医学会学術総会
11. 10月29日(水)～31日(金) 第84回日本公衆衛生学会総会
12. 11月14日(金)～15日(土) 第80回日本大腸肛門病学会学術集会
13. 11月28日(金)～29日(土) 第35回日本乳癌検診学会学術総会
14. 3月20日(金)～21日(土) 東京国際内視鏡ライブセミナー2026

○個人助成

1. 8月4日(月)～9日(土) 医学部夏期集中医学英語研修の助成(13名)
2. 長期3名、短期6名、

Ⅱ. 2025 年度事業詳細

2025 年度事業計画に基づき、公益目的事業として 14 件の団体助成、4 件の個人助成、7 件のセミナー、を実施したので詳細を以下に報告する。

公益目的事業

(1) 団体助成

1. TOKYO Live2025(東京国際内視鏡ライブセミナー2025)

会期:2025 年 4 月 12 日(土)～13 日(日)

主催:東京国際内視鏡ライブセミナー2025

コース・ディレクター:井上 晴洋(昭和大学江東豊洲病院 消化器センター)

会場:昭和大学江東豊洲病院9F 講堂

2. 第 125 回日本小児科学会学術集会

会期:2025 年 4 月 18 日(金)～20 日(日)

主催:第 128 回日本小児科学会学術集会

会頭 齋藤伸治(名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野教授)

会場:ポートメッセなごや

3. 第 109 回日本消化器内視鏡学会総会

会期:2025 年 5 月 9 日(金)～11 日(日)

主催:第 128 回日本消化器内視鏡学会総会

会長:山野 泰穂(札幌医科大学医学部 消化器内科学講座

札幌医科大学付属病院 消化器内視鏡センター)

会場:札幌市教育文化会館、グランドメルキュール札幌大通公園、札幌プリンスホテル、京王プラザホテル

4. 第 60 回日本小児腎臓病学会学術集会

会期:2025 年 5 月 22 日(木)～24 日(土)

主催:第 60 回日本小児腎臓病学会学術集会

会長:池住洋平(藤田医科大学 医学部 小児科学)

会場:ウインクあいち

5. 第 64 回日本小児股関節研究会

会期:2025 年 6 月 19 日(木)～20 日(金)

主催:第 64 回日本小児股関節研究会

会長:鬼頭浩史(あいち小児保健医療総合センター)

会場:ウインクあいち

6. 第 30 回日本緩和医療学会学術大会

会期:2025 年 7 月 4 日(金)～5 日(土)

主催:第 30 回日本緩和医療学会学術大会

大会長:田村恵子 (大阪歯科大学教授)

会場:福岡国際会議場、マリンメッセ福岡 A 館/B 館

7. 第 27 回日本女性骨盤底医学会

会期:2025 年 7 月 5 日(土)～6 日(日)

主催:第 27 回日本女性骨盤底医学会

会長:吉村和晃(産業医科大学若松病院産婦人科 診療教授)

会場:アクロス福岡

8. 第 48 回日本美容外科学会総会・第 154 回学術集会

会期:2025 年 9 月 25 日(木)～27 日(土)

主催:第 48 回日本美容外科学会総会・第 154 回学術集会

会長:小室裕造(帝京大学医学部形成・口腔顎顔面外科学講座 教授)

会場:虎ノ門ヒルズフォーラム

9. 第 52 回日本マスキニング学会学術集会

会期:2025 年 10 月 3 日(金)～4 日(土)

主催:第 52 回日本マスキニング学会学術集会

会長:伊藤哲哉(藤田医科大学医学部小児科学)

会場:ウインクあいち

10. 第 60 回日本アルコール・アディクション医学会学術総会

会期:2025 年 10 月 23 日(木)～25 日(土)

主催:第 60 回日本アルコール・アディクション医学会学術総会

会長:上村公一(東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 法医学分野 名誉教授)

会場:一橋講堂

11. 第 84 回日本公衆衛生学会総会

会期:2025 年 10 月 29 日(水)～31 日(金)

主催:第 84 回日本公衆衛生学会総会

学会長:尾島俊之(浜松医科大学 健康社会医学講座)

会場:グランシップ(静岡県コンベンションアーツセンター・静岡市)

12. 第 80 回日本大腸肛門病学会学術集会

会期:2025 年 11 月 14 日(金)～15 日(土)

主催:第 80 回日本大腸肛門病学会学術集会

会長:山口茂樹(東京女子医科大学 消化器・一般外科)

会場:グランドニッコー東京 台場

13. 第 35 回日本乳癌検診学会学術総会

会期:2025 年 11 月 28 日(金)～29 日(土)

主催:第 35 回日本乳癌検診学会学術総会

会長:杉本健樹(社会医療法人近森会病院 乳腺センター/乳腺外科)

会場:高知県立文化ホール、三翠園、ザ クラウンパレス新阪急高知

14. TOKYO Live2026(東京国際内視鏡ライブセミナー2026)

会期:2026 年 3 月 20 日(金)～21 日(土)

主催:東京国際内視鏡ライブセミナー2026

コース・ディレクター:井上 晴洋(昭和大学江東豊洲病院 消化器センター)

会場:昭和大学江東豊洲病院9F 講堂

(2) 個人助成

1. 助成(長期)助成者

(1) 中原舜

研修期間 2025 年 7 月 1 日～2026 年 6 月 30 日

留学先名 University of Hawaii

(2) 堀内康平

研修期間 2025 年 7 月 1 日～2027 年 6 月 30 日

留学先 Icahn School of Medicine at Mount Sinai

(3) 飯澤(杉田)明穂

研修期間 2025 年 7 月～2027 年 6 月

留学先名 Rush University Medical Center

2. 助成(短期)助成者

(1) 小林陽花

研修期間 2025 年 7 月 18～2025 年 12 月

研修先カーディナルグレノン小児病院、アラバマ小児病院、ライトステート大学病院、
UT サンアントニオ大学病院、Tulane 大学、LSU 関連小児病院、ハワイ大学病院
セントルイス大学病院、他

(2) 今田敬都、青木みのり、岡村南星、加納彩瑛、天谷優來

University of Illinois Urbana-Champaign(UIUC)及び

Carle Illinois College of Medicine(CI MED)主幹医工連携グローバルコンソーシアム

3. 医学部夏期集中医学英語研修

応募者：15名(1名辞退)

合格者：13名

期 間：2025年8月4日(月)～9日(土)

主催および研修場所：Hawaii Tokai International College(HTIC)

協 力：ハワイ 聖ルカ・クリニック 小林恵一先生、神戸大学医学部、東海大学医学部

NO.	氏名	所属先	学年
1	大原 優奈	奈良県立医科大学	5年
2	鎌野 愛羽	順天堂大学	5年
3	北野 友理恵	熊本大学	6年
4	齋藤 瑛美里	徳島大学	5年
5	杉井 万里子	慶応義塾大学	5年
6	須藤 日向子	岐阜大学	5年
7	染谷 優里佳	日本医科大学	5年
8	中野 佑香	慶応義塾大学	5年
9	中牧 馨	久留米大学	6年
10	長谷川 香乃	慶応義塾大学	5年
11	平田 翔	岩手医科大学	5年
12	水島 麗	福島県立医科大学	5年
13	宮田 諒	慶応義塾大学	5年

*50音順

4. アメリカ短期看護研修

2025年度は募集せず。

(3) JANAMEF セミナー

① JANAMEF WEBセミナー

1. 町 淳二

With Corona & Beyond、未来の世界未来の医療を考えよう造ろう

2. 水口 英彦・田中 秀一

医師を守り、患者のための医療へ

3. 庄嶋 健作・伴 信太郎

JANAMEF 大リーガー育成プロジェクトとは？

4. 渡邊 輝夫・伊東 完

指導医ハワイ派遣：茨城に学ぶ世界標準の医療教育実装

5. 押味貴之・岩城 叡遼

医学英語教育がくれた学びと今後の展望

医学を英語で学ぶ」という医学英語教育について

6. 小林恵一 医学英語

アメリカ臨床研修採用で重要視され、日本では教えていない重要なポイント

7. 徳田 安春

日本の臨床研修病院での米国人指導医招聘による医学教育プログラムの実践例

②医学留学セミナー

2025 年 11 月 1 日(土)、医学留学セミナー《医学医療交流の新たな展開—Science Tokyo が目指す医工連携教育—》はハイブリッド開催(現地開催とオンライン開催)となり、講師・司会等 16 名、受講生 50 名(医学生・初期研修医 19 名、医師その他 31 名)合わせて計 66 名が参加しました。

今後の医工連携教育において、海外交流の重要性はますます高まっています。医療技術や工学の発展は国境を越えて加速しており、グローバルな視点での知識やスキルの習得が求められています。海外の大学や研究機関との連携を通じて、異なる制度・文化の中での医療課題や技術的アプローチを学ぶことは、柔軟な発想と国際的な課題解決力を養う上で非常に有効です。また、多様な専門性を持つ人材と協働する経験は、医工連携に不可欠なコミュニケーション能力やチームワークの向上にもつながります。こうした交流を通じて、国際的に通用する人材の育成が可能となり、将来的には日本の医療・工学分野の国際競争力強化にも貢献できると考えます。本セミナーは Science Tokyo の「科学の進歩と人々の幸せと」をめざした展開も含めて、新たな時代の医工連携国際交流について考える機会にしました。

セミナーでは、東京科学大学 医学部 医学科長 山脇 正永先生の総合司会のもと、最初に東京科学大学 学長 田中 雄二郎先生(オンライン)と日米医学医療交流財団 会長 高瀬 義昌先生から開会のご挨拶があり、田中 雄二郎学長からは東京科学大学の今後のめざす方向が示されました。

<セッション1 医工連携と医学医療交流>は、東京科学大学 医学部 医学科長 山脇 正永先生と日米医学医療交流財団 理事長 遠藤 直哉先生の司会で進められました。

東京科学大学 医学部 医学部長 秋田 恵一先生の講演は「Science Tokyo 医学部の目指す医工連携教育と海外交流」でした。東京科学大学のミッションは「科学の進歩と人々の幸せを探索し、社会と共に新たな価値を創造する」であること、医学部 4 年には海外留学を含め、5-6 ヶ月研究に専念する期間があり、6 年生でも短期間海外留学できる期間を設けているとの説明がありました。近年では、異なる分野の知識や方法論を融合して新たな解決策を模索する研究が求められるようになり、2 領域の専門知識を持つ人材(π [パイ]型人才:例えば医学と工学の専門知識を持つ人材)を育成する必要性が高まっているので、東京科学大学では医学部と理工系修士課程の接続を検討中とのことでした。

日米医学医療交流財団 理事長/(弁)フェアネス法律事務所 代表弁護士 遠藤 直哉先生による「財団助成案内」では、①日米医学医療交流財団の歴史、②財団は幅広い分野の留学に対して助成していること、③財団では WEB セミナーを積極的に開催していることなどが紹介されました。また、厚生労働省から文部科学省に出向中の医系技官、松本晴樹先生にオンライン参加していただき、「医師人生は長いので、人生の途中でのステップアップが大切であること、今後日本の高齢化社会の中で課題を見つけ、解決できる人になることが大切である」とのお話をいただきました。

短時間の休憩をはさみ、

<セッション2 英国 Imperial College London とのダブルディグリープログラムでサイエンスを学ぶ～iBSc プログラム>では、東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 教授 若林 健二先生、日米医学医療交流財団 研修助成選考委員/埼玉医科大学総合医療センター 教授 阪井 裕一先生が司会を務めました。

東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 講師 片倉 麻衣先生は「iBSc 留学プログラム創設の経緯と概要」として、東京科学大学に英国 Imperial College London の Intercolated Bachelor of Science (iBSc) プログラムを創設した経緯をお話くださいました。東京科学大学の iBSc プログラムは 2024 年に開始しましたが、医学部 4 年生数名が Imperial College London に 1 年間留学できる制度で、体系的に Science

を学んで Bachelor of Science を取得し、授業料や生活費標準額は東京科学大学が負担するという、「本気の留学プログラム」とのことです。

東京科学大学 医学部医学科 兼松 快さんの「Neuroscience and Mental Health pathway の経験」では、1 年間の神経科学と精神衛生コースを受講した経験が説明されました。授業を聴講する前には必ず予習が求められ、グループワークでは指導者からフィードバックがあり改善の機会が与えられ、試験では細かい採点基準が明確に決められているそうです。その他、実際の論文投稿のプロセスを模したレポート作成や、ラボでの実験を経験することもできたそうです。留学を終えて感じることは、神経科学の最新知見を幅広く学ぶことができた、新しい環境で挑戦し、柔軟性と問題解決力を養えたとのこと。今後は、国際的な視点と柔軟な考えを持ち、世界の研究・医療に貢献できるクリニシャン・サイエンティストをめざしたいと考えているそうです。

東京科学大学 医学部医学科 樋上 真梨さんは「Global Health pathway の経験」と題して、1年間の公衆衛生コースで経験した内容を話してくださいました。Module 1 では講義中心、Module 2 ではグループミーティングが印象的で、実際の論文投稿の流れを模倣、Module 3 では systematic review 等の研究を経験しました。このコースに応募した理由は、東京科学大学からの全面的なサポートのもとで、魅力的なプログラムを受けられるからでした。留学で得られた点は、物事を多角的にとらえる視点と自分の軸が得られたことだそうです。印象に残ったことは、生成 AI の利用についての教育、規制がしっかりしていた点とのこと。

東京科学大学 医学部医学科 原 雄一郎さんは「Immunity and Infection pathway の経験」と題して、1年間の免疫・感染症コースで受講した内容を発表しました。原さんはすでに東京科学大学で感染症研究を進めていますが、このコースに参加して、①外国における我々のカウンターパートがどのような教育を受けているのか知ることができた、②基礎医学、臨床医学の教育方法を詳しく知ることができた、とのことでした。また、このコースを受講して東京科学大学に対して以下の提言を掲げました。①教育機会の均等性の担保、②教育内容の標準化、③平均的な学生の意欲を上げる重要性、④研究室配属の前には類似した分野が合同で基礎手技の講義を行えると良い、⑤全学生に対して学術的レポートの書き方の授業をする、⑥レポートの採点基準を明確にして公表する。このたびの留学で Bachelor of Science を取得することができたので、思い出や経験だけに終わらず、将来新たに留学する際にも個人の能力の裏付けとして役立つことに意味を感じていると締めくくりました。

セッション 2 の総合討論では、英国 Imperial College London の Bachelor of Science の証書には自分が学生中で何番目の成績で卒業したか記載されていること、iBSc ではコースを選んだ後にコース変更することはできないこと、コース毎に評価方法は少しずつ違うことなどが話題となりました。

<セッション 3 University of Illinois Urbana-Champaign(UIUC) 主幹グローバルコンソーシアムの展開>では、東京科学大学 国際本部 講師 長谷川久紀先生、日米医学医療交流財団 会長 高瀬 義昌先生が司会を務めました。

東京科学大学 国際本部 講師 長谷川久紀先生は「UIUC 主幹グローバルコンソーシアムの紹介」において、イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校 (University of Illinois Urbana-Champaign; UIUC) は、医学・工学・基礎科学の三位一体の教育カリキュラムを作り上げたが、①同校は医工連携グローバルコンソーシアム (Global Consortium of Innovation and Engineering in Medicine; GCIEM) と称して、同様の取り組みに賛同する国際的な大学、政府機関、民間パートナー等と連携を進め、②東京科学大学は 2023 年か

ら GCIEM に参加したこと、③GCIEM では、医学教育の発展、世界的な共同研究の醸成、国際交流の促進、年次の国際サミットの開催等、医学と工学の連携や革新を通じたグローバルネットワークを提供していることを紹介してくださいました。GCIEM は「工学に基づくソリューションで世界の医療を革新する」ことをめざしているそうです。

東京科学大学 工学院システム制御系 准教授 宮崎 祐介先生は「グローバルサミットと実践型アントレプレナー人材育成プログラム (PEECs)」において、まず最初に、東京科学大学の代表団は 2025 年 4 月 6 日から 8 日にかけて、UIUC のカール・イリノイ医科大学 (Carle Illinois College of Medicine; CI MED) で開催された第 1 回 GCIEM Global Summit (グローバルサミット) に参加したことを報告しました。今回のサミットには、世界各地の 33 機関から 500 名以上の代表が参加したそうです。ちなみに UIUC の CI MED は、世界初の工学系医学部で、ほとんどのコースは基礎科学者、臨床医、エンジニアで構成されるチームによって設計されています。続いて、宮崎先生は東京科学大学の 2024 年度入学生から開始したアントレプレナーシップ教育の紹介をしました。東京科学大学では「新たな価値を開発・開拓し、それを社会に事業として設定する行動体系 (マインドセット・スキル)」をアントレプレナーシップと定義し、アントレプレナーシップは、将来の進路に関わらず学生にとって必要な行動体系としているそうです。アントレプレナーシップ育成プログラムでは、学生の「やりたいこと」や「アイデア」を、社会の価値となる「イノベーション」として定着させられる人材の育成をめざしています。

東京科学大学 医学部医学科 4 年 青木みのりさんは「グローバルコンソーシアム Innovation Grand Challenge に参加して」と題して講演しました。GCIEM グローバルサミット開催期間中の Global Health Innovation Grand Challenge Competition (グランドチャレンジ) に出場したのが、東京科学大学医学部 4 年の青木みのりさんと 3 年の岡村南星さんでした。この二人は GCIEM の Student Committee (学生委員会) メンバーとしても活動しており、世界各地の医学生・工学系学生と医学の未来について議論を重ねています。CI MED では、各臨床ブロックの最後に、その領域の臨床的な課題について調査し、一つ選んで具体的な解決策とそれにかかる費用やビジネス計画を考える必修プロジェクトがありますが、グランドチャレンジはその実践版のような位置づけです。青木さんと岡村さんは、今回のグランドチャレンジに、世界の医学生たちと混成チームを組んで挑戦しました。青木さんのチームは「子宮内膜症の画像診断」をテーマに発表しましたが、CI MED のチームメイトたちは、医学生でありながら三人の子供の育児を両立させていたり、卒業後は研修に進む前に 1 年間研究に没頭して周りとの差をつけたいと考えていたり、とても意欲的で、彼らの情熱に心を打たれたそうです。今後は学生委員会の中でもエンジニアリングと医療を融合させた共同プロジェクトを立ち上げ、将来的には東京科学大学単独チームでグランドチャレンジ優勝を果たせるように、活動を続けたいそうです。

東京科学大学 医学部医学科 3 年 岡村 南星さんの「Innovation Grand Challenge への取り組み」では、2025 年のグローバルサミット、特にグランドチャレンジへの参加は非常に刺激的で、同時に大きな挑戦であったとの報告がされました。岡村さんのチームは、「急性脳卒中治療における低体温療法」をテーマに取り組み、体温を迅速に下げることでの治療までの猶予時間を延ばす可能性のあるデバイスを考案しました。惜しくも決勝進出はできませんでしたが、同世代の学生たちがこれほどまでに積極的に未来を切り開こうとしている姿に、大きな刺激を受けたそうです。今後は、東京科学大学内にも医学・工学の学生が交流できる場を作りたい、まずは医療系・工学系の学生同士が気軽に交流できる機会を設けたい、そしていつかは自分たちもグランドチャレンジで優勝をめざしたいとのことでした。

セッション 3 の総合討論では、世界では医工連携が急速に進んでいるので、日本もこの流れに付いて行けるように頑張っていかなければとの強い思いが話されました。

最後は、東京科学大学 医学部 医学科長 山脇 正永先生ならびに日米医学医療交流財団 理事 小池 薫先生から閉会の辞があり、セミナーは盛会のうちに終了しました。

今回は現地開催とオンライン開催を同時に行うハイブリッド開催でしたが、関係者の皆様にしっかり準備していただいたおかげで充実した内容となり、成功裏のうちに終了することができました。東京科学大学の皆様に心より感謝申し上げます。

ハイブリッド開催

公益財団法人 日米医学医療交流財団
2025年 医学医療交流セミナー 共催：東京科学大学

医学医療交流の新たな展開 Science Tokyo が目指す医工連携教育

— プログラム —

(2025.7.16 現在)

	総合司会	東京科学大学 医学部 医学科長	山脇 正永
13:00	開会の辞	東京科学大学 学長 (オンライン) (公財)日米医学医療交流財団 会長	田中雄二郎 高瀬 義昌
13:20~13:50	セッション1	医工連携と医学医療交流	
	【司会】	東京科学大学 医学部 医学科長 (公財)日米医学医療交流財団 理事長	山脇 正永 遠藤 直哉
		●Science Tokyo 医学部の目指す医工連携教育と海外交流	
	【講師】	東京科学大学 医学部 医学部長	秋田 恵一
		●財団助成案内	
	【講師】	(公財)日米医学医療交流財団 理事長 (弁)フェアリー法律事務所 代表弁護士	遠藤 直哉
— 休憩 (10分) —			
14:00~15:20	セッション2	英国 Imperial College London とのダブルディグリープログラムで サイエンスを学ぶiBScプログラム	
	【司会】	東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 教授 (公財)日米医学医療交流財団 研修助成選考委員 埼玉医科大学総合医療センター 教授	若林 健二 阪井 裕一
14:00~14:15	●iBSc 留学プログラム創設の経緯と概要		
	【講師】	東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 講師	片倉 麻衣
14:15~14:30	●Neuroscience and Mental Health pathway の経験		
	【講師】	東京科学大学 医学部医学科	兼松 快
14:30~14:45	●Global Health pathway の経験		
	【講師】	東京科学大学 医学部医学科	樋上 真梨
14:45~15:00	●Immunity and Infection pathway の経験		
	【講師】	東京科学大学 医学部医学科	原 雄一郎
15:00~15:20	●総合討論		
— 休憩 (10分) —			
15:30~16:50	セッション3	University of Illinois Urbana-Champaign(UIUC) 主幹グローバルコンソーシアムの展開	
	【司会】	東京科学大学 国際本部 講師 (公財)日米医学医療交流財団 会長	長谷川 久紀 高瀬 義昌
15:30~15:45	●UIUC 主幹グローバルコンソーシアムの紹介		
	【講師】	東京科学大学 国際本部 講師	長谷川 久紀
15:45~16:00	●グローバルサミットと実践型アントレプレナー人材育成プログラム (PEECs)		
	【講師】	東京科学大学 工学院システム制御系 准教授	宮崎 祐介
16:00~16:15	●グローバルコンソーシアム Innovation Grand Challenge に参加して		
	【講師】	東京科学大学 医学部医学科	青木 みのり
16:15~16:30	●Innovation Grand Challenge への取り組み		
	【講師】	東京科学大学 医学部医学科	岡村 南星
16:30~16:50	●総合討論		
16:50~17:00	閉会挨拶	東京科学大学医学部 医学科長 (公財)日米医学医療交流財団 理事	山脇 正永 小池 薫

(4) 茨城県指導医団国外派遣事業支援業務

開催なし

(5) 埼玉県トップランナー医師育成留学支援事業 支援業務

開催なし

Ⅲ. 2025年度評議員会・理事会議事

第1回 定時理事会

日時:2025 年 5 月 24 日(土)10:00

場所:財団事務所ハイブリットによる Web 会議

審議事項

1. 2024 年度事業報告の承認
2. 2024 年度決算報告の承認
3. 役員等推薦手続規則(再任)
4. 理事改選
5. 顧問・委員会委員改任
6. 事務所移転
7. 基本方針(4カ月年計画)
8. 次回評議員会開催について

報告事項

1. WEB セミナー予定
2. 2025 年度個人助成
3. 会員の入退会状況
4. 代表理事等の職務執行状況の報告

第1回 定時評議員会

日時:2025 年 6 月 14 日(土)10:00

場所:財団事務所ハイブリットによる Web 会議

審議事項

1. 2024 年度決算書類承認の件
2. 理事改選

報告事項

1. 2024 年度事業報告
2. 役員等推薦手続規則(再任)

3. 顧問・委員会委員改任
4. 事務所移転
5. WEB セミナー予定
6. 2025 年度個人助成
7. 会員の入退会状況
8. 代表理事などの職務執行状況の報告

第2回 臨時理事会

決議の省略

議題事項

1. 代表理事及び専務理事の選定の件

第3回 臨時理事会

日時:2025 年 12 月 14 日(日)10:00

場所:財団事務所ハイブリットによる Web 会議

議題事項

1. 医学英語教育の推進に向けて～医師国家試験での英語問題2割出題の提案

報告事項

1. 2025 年度半期決算報告の件
2. 留学セミナー(東京科学大学)
3. WEB セミナー(4月～11月)
4. 2025 年度個人助成
5. 会長、理事長及び専務理事の職務執行状況の報告
6. 次回理事会開催、次回評議員会開催

第4回 定時理事会

日時:2026 年 3 月 7 日(土)16:00

場所:日本教育会館ハイブリットによる Web 会議

議題事項

1. 2026 年度事業計画案
2. 2026 年度収支予算案
3. 2026 年度事業の内容案
4. 2026 年度第1回定時評議員開催の件
5. 助成制度運営規則改正の件

報告事項

1. 2025 年度個人助成報告
2. 2026 年医学医療交流セミナー(留学セミナー)京都大学にて

第 2 回 臨時評議員会

日時:2026 年 3 月 7 日(土)16:40

場所:日本教育会館ハイブリットによる Web 会議

報告事項

1. 2026 年度事業計画案
2. 2026 年度収支予算案
3. 2026 年度事業の内容案
4. 助成制度運営規則改正の件
5. 2026 年度第1回定時評議員開催の件
6. 2025 年度個人助成報告
7. 2026 年医学医療交流セミナー(留学セミナー)京都大学

IV. 組 織

(1) 顧問・評議員・役員名簿（顧問 3 名、評議員 10 名、理事 15 名、監事 1 名）

役 職	氏 名	職 業（所 属・役 職）
顧 問	松本 吉郎 小玉 正智 伴 信太郎	公益社団法人日本医師会 会長 滋賀医科大学 名誉教授、本財団元会長 中津川市地域総合医療センター センター長
評 議 員	池田 俊也 井上 大輔 田邊 一成 中村 智宏 野島 廣司 野村 実 松村 理司 三ツ浪真紀子 三好 智子 山本 悟	国際医療福祉大学医学部教授 神奈川歯科大学短期大学部 学長 湘南鎌倉総合病院 ロボット手術・臓器移植センター センター長 (弁)フェアネス法律事務所 弁護士・薬学修士 株式会社ノジマ 取締役兼代表執行役社長 CEO (医)成和会西新井病院院長 東京女子医科大学名誉教授 洛和会 本部参与 ハーバード公衆衛生大学院博士研究員 京都大学医学研究科准教授 湘南藤沢徳洲会病院 眼科部長
会 長	高瀬 義昌	(医)至高会たかせクリニック 理事長
理 事 長	遠藤 直哉	(弁)フェアネス法律事務所 代表弁護士
専務理事	徳田 安春	群星沖縄臨床研修センター長
理 事	小池 薫 香取 照幸 小玉 正太 宮崎 泰成 山下 雅知 片岡 仁美 小嶋 高志 小林 恵一 立川 幸治 田中 秀一 山内 豊明 和足 孝之	京都岡本記念病院救急科参与、医療法人社団昂会顧問、 京都大学名誉教授、京都医療センター名誉院長 上智大学 総合人間科学部社会福祉学科 教授 一般社団法人未来研究所 臥龍 代表理事 福岡大学理事・医学部長、再生・移植医学講座教授 東京科学大学統合呼吸器病学教授 公益財団法人井上有英会評議員 京都大学医学研究科教授 (弁)フェアネス法律事務所 医師・弁護士 ハワイ聖ルカ・クリニック院長 タチカワ&アソシエイツ院長 元国際医療福祉大学教授医療福祉学部長 放送大学 教授 京都大学附属押印准教授
監 事	小笠原 和也	小笠原会計事務所所長 公認会計士・税理士

(2) 委員名簿

① 学術委員(15名)

役 職	氏 名	職 業 (所 属 ・ 役 職)
委 員 長	井上 大輔	神奈川歯科大学短期大学部 学長
委 員	田中雄二郎	東京科学大学学長
	自見 英子	元内閣府特命担当大臣
	新谷 正義	衆議院議員、(医)晴生会理事長
	井樋 栄二	東北労災病院院長、東北大学名誉教授
	上野 義之	国立大学法人山形大学内科第二講座教授
	大石 公彦	東京慈恵会医科大学小児科教授
	粕谷 英樹	名古屋大学大学院医学系研究科教授
	窪田 等	杏林大学医学部心臓血管外科教授
	小山 勇	埼玉医科大学専務理事
	祖父江 元	愛知医科大学理事長・学長
	高本 眞一	元東京大学医学部心臓血管外科教授
	田邊 一成	湘南鎌倉総合病院臓器移植センター長
	丸山 徹	九州大学名誉教授(社医)原土井病院副院長
	宮崎 泰成	東京科学大学統合呼吸器病分野教授

③ 研修助成の選考委員(8名)

役 職	氏 名	職 業 (所 属 ・ 役 職)
委 員 長	小池 薫	京都岡本記念病院救急科参与、医療法人社団昂会顧問、京都大学名誉教授、京都医療センター名誉院長
委 員	赤津 晴子	国際医療福祉大学医学部 教授、医学教育統括センター長、 成田キャンパス国際交流センター長
	阪井 裕一	埼玉医科大学総合医療センター 小児科 教授
	D.サターホワト	前 CIEE 京都 センターディレクター
	町 淳二	ハワイ大学医学部外科 教授 国際医療医学オフィス 日本担当部長
	小嶋 高志	(弁)フェアネス法律事務所医師・弁護士
	山本 悟	湘南藤沢徳洲会病院 眼科部長
	野村 実	(医)成和会西新井病院院長、東京女子医科大学名誉教授

研究助成の審査委員(7名)

役 職	氏 名	職 業 (所 属 ・ 役 職)
委 員	井上 大輔 中村 智広 香取 照幸 山内 豊明 川内 秀之 小林 美亜 吉田 学	神奈川歯科大学短期大学部 学長 (弁)フェアネス法律事務所弁護士・薬剤師 兵庫県立大学大学院特任教授、一般社団法人未来研究所 臥龍 代表理事 放送大学 教授 鳥取大学名誉教授 山梨大学特任教授 元厚生労働事務次官、多摩大学医療・介護ソリューション研究所客員教授

④広報委員(6名)

役 職	氏 名	職 業 (所 属 ・ 役 職)
委 員	山下 雅知 青木 眞 小玉 正太 田中 秀一 奥山 美奈 小泉 俊三	公益財団法人井上育英会評議員 感染症コンサルタント 福岡大学理事・医学部長、再生・移植医学講座教授 元国際医療福祉大学教授医療福祉学部長 株式会社サクセスコーチング 佐賀大学名誉教授

(3)事務局

常勤職員 1 名、臨時職員 1 名

2026 年 3 月 31 日現在

V. 事業報告の附属明細書

2025 年(令和 7 年)度事業報告の附属明細書は、事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので作成しない。

貸 借 対 照 表
令和8年(2026年)3月31日 現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金及び預金	23,536,020	44,577,736	-21,041,716
前 払 金	13,520	1,515,320	-1,501,800
未収入金	0	0	0
流動資産合計	23,549,540	46,093,056	-22,543,516
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
有価証券	314,477,000	323,274,000	-8,797,000
定期預金	10,281,444	10,281,444	0
普通預金	12,500,000	18,500,000	-6,000,000
基本財産合計	337,258,444	352,055,444	-14,797,000
(2) 特定資産			
小玉代表基金	40,610,263	41,910,263	-1,300,000
特定資産合計	40,610,263	41,910,263	-1,300,000
(3) その他固定資産			
ソフトウェア	375,887	613,289	-237,402
敷 金	907,200	623,700	283,500
什器備品	162,700	0	162,700
長期貸付金	6,000,000	0	6,000,000
その他の固定資産合計	7,445,787	1,236,989	6,208,798
固定資産合計	385,314,494	395,202,696	-9,888,202
資産合計	408,864,034	441,295,752	-32,431,718
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,534,000	1,708,015	-174,015
前受金	100,000	2,591,660	-2,491,660
学会寄附金前受金	4,700,000	25,875,000	-21,175,000
預り金	146,248	138,090	8,158
流動負債合計	6,480,248	30,312,765	-23,832,517
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	6,480,248	30,312,765	-23,832,517
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄附金	40,610,263	41,910,263	-1,300,000
(うち特定資産への充当額)	(40,610,263)	(41,910,263)	1,300,000
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(337,258,444)	(352,055,444)	14,797,000
正味財産合計	402,383,786	410,982,987	-8,599,201
負債及び正味財産合計	408,864,034	441,295,752	-32,431,718

正味財産増減計算書

令和7年(2025年)4月1日から令和8年(2026年)3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	4,915,819	4,896,448	19,371
基本財産受取利息	4,915,819	4,896,448	19,371
特定資産運用益	102,299	29,047	73,252
特定資産受取利息	102,299	29,047	73,252
受取会費	8,500,000	10,154,340	-1,654,340
受 取 会 費	8,500,000	10,154,340	-1,654,340
事業収益	99,000	20,000	79,000
セミナー収益	24,000	20,000	4,000
フェロー事業収益	75,000	0	75,000
受取補助金等	500,000	500,000	0
受取民間助成金	500,000	500,000	0
受託収入	0	4,796,149	-4,796,149
海外派遣支援業務受託収入	0	4,796,149	-4,796,149
受取寄附金	43,339,355	12,127,867	31,211,488
受取寄附金	244,355	297,867	-53,512
受取学会寄附金	41,795,000	10,730,000	31,065,000
受取寄附金振替額	1,300,000	1,100,000	200,000
雑収益	3,143,202	327,313	2,815,889
受取利息	100,518	27,313	73,205
雑収益	3,042,684	300,000	2,742,684
経常収益計	60,599,675	32,851,164	27,748,511
(2) 経常費用			
事業費	49,713,776	25,245,594	24,468,182
個人助成費	6,100,000	2,100,000	4,000,000
団体助成費	37,615,500	9,657,000	27,958,500
セミナー費	684,650	623,304	61,346
フェロー事業費	340,200	418,800	-78,600
給与手当	1,952,534	4,861,382	-2,908,848
法定福利費	332,190	687,902	-355,712
資料印刷費	36,712	32,642	4,070
通信運搬費	316,418	266,856	49,562
旅費交通費	63,000	1,875,500	-1,812,500
租税公課	2,000	57,280	-55,280
賃借料	380,259	385,617	-5,358
委員会費	0	0	0
支払手数料	264,716	196,554	68,162
地代家賃	1,155,000	1,386,000	-231,000
水道光熱費	50,827	94,104	-43,277
諸謝金	141,370	2,304,253	-2,162,883
業務委託費	271,260	237,600	33,660
損害保険料	7,140	34,960	-27,820
雑 費	0	25,840	-25,840
管理費	9,388,100	7,710,714	1,677,386
給与手当	3,727,590	3,255,299	472,291
役員報酬	300,000	250,000	50,000
法定福利費	616,923	687,902	-70,979
福利厚生費	6,597	2,808	3,789
会 議 費	65,160	66,000	-840
資料印刷費	38,913	29,451	9,462
通信運搬費	261,199	150,832	110,367
旅費交通費	554,126	237,167	316,959
租税公課	2,160	4,970	-2,810
賃借料	538,480	302,725	235,755
支払手数料	236,557	173,132	63,425
消耗品費	212,235	131,840	80,395
地代家賃	1,155,000	1,386,000	-231,000
水道光熱費	50,826	94,105	-43,277
業務委託費	272,980	323,961	-50,981
損害保険料	108,140	217,620	-109,480
減価償却費	326,024	237,402	88,622
雑 費	914,588	159,500	755,088
経常費用計	59,101,876	32,956,308	26,145,568
評価損益調整前経常増減額	1,497,799	-105,144	1,602,943
投資有価証券評価損益等	-8,797,000	-13,670,000	4,873,000
評価損益	-8,797,000	-13,670,000	4,873,000
当期経常増減額	-7,299,201	-13,775,144	6,475,943
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
前期補助金調整額	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額			
他会計振替額			
当期一般正味財産増減額	-7,299,201	-13,775,144	6,475,943
一般正味財産期首残高	369,072,724	382,847,668	-13,775,144
一般正味財産期末残高	361,773,523	369,072,724	-7,299,201
II 指定正味財産増減の部			
特定資産評価益	0	0	0
指定受取寄附金			
一般正味財産への振替額	-1,300,000	-1,100,000	-200,000
当期指定正味財産増減額	-1,300,000	-1,100,000	-200,000
指定正味財産期首残高	41,910,263	43,010,263	-1,100,000
指定正味財産期末残高	40,610,263	41,910,263	-1,300,000
Ⅲ 正味財産期末残高	402,383,786	410,982,987	-8,599,201

正味財産増減内訳書

令和7年(2025年)4月1日 から 令和8年(2026年)3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,457,910	2,457,909	4,915,819
基本財産受取利息	2,457,910	2,457,909	4,915,819
特定資産運用益	102,299	0	102,299
特定資産受取利息	102,299	0	102,299
受取会費	4,250,000	4,250,000	8,500,000
受 取 会 費	4,250,000	4,250,000	8,500,000
事業収益	99,000	0	99,000
セミナー収益	24,000	0	24,000
フェロ-事業収益	75,000	0	75,000
受取補助金等	500,000	0	500,000
受取民間助成金	500,000	0	500,000
受託収入	0	0	0
海外派遣支援業務受託収入	0	0	0
受取寄附金	43,217,177	122,178	43,339,355
受取寄附金	122,177	122,178	244,355
受取学会寄附金	41,795,000	0	41,795,000
受取寄附金振替額	1,300,000	0	1,300,000
雑収益	50,259	3,092,943	3,143,202
受取利息	50,259	50,259	100,518
雑収益	0	3,042,684	3,042,684
資料頒布収益	0	0	0
経常収益計	50,676,645	9,923,030	60,599,675
(2) 経常費用			
事業費	49,713,776		49,713,776
個人助成費	6,100,000		6,100,000
団体助成費	37,615,500		37,615,500
セミナー費	684,850		684,850
フェロ-事業費	340,200		340,200
給与手当	1,952,534		1,952,534
法定福利費	332,190		332,190
資料印刷費	36,712		36,712
通信運搬費	316,418		316,418
旅費交通費	63,000		63,000
租税公課	2,000		2,000
賃借料	380,259		380,259
委員会費	0		0
支払手数料	264,716		264,716
地代家賃	1,155,000		1,155,000
水道光熱費	50,827		50,827
諸謝金	141,370		141,370
業務委託費	271,260		271,260
損害保険料	7,140		7,140
会議費	0		0
雑 費	0		0
管理費		9,388,100	9,388,100
給与手当		3,727,590	3,727,590
役員報酬		300,000	300,000
法定福利費		616,923	616,923
福利厚生費		6,597	6,597
会 議 費		65,160	65,160
資料印刷費		38,913	38,913
通信運搬費		261,199	261,199
旅費交通費		554,126	554,126
租税公課		2,160	2,160
賃 借 料		538,480	538,480
支払手数料		236,557	236,557
消耗品費		212,235	212,235
地代家賃		1,155,000	1,155,000
水道光熱費		50,828	50,828
業務委託費		272,980	272,980
損害保険料		108,140	108,140
減価償却費		326,624	326,624
雑 費		914,588	914,588
経常費用計	49,713,776	9,388,100	59,101,876
評価損益調整前経常増減額	962,869	634,930	1,497,799
投資有価証券評価損益等	-4,398,500	-4,398,500	-8,797,000
評価損益等	-4,398,500	-4,398,500	-8,797,000
当期経常増減額	-3,435,631	-3,863,570	-7,299,201
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額			
他会計振替額			
当期一般正味財産増減額	-3,435,631	-3,863,570	-7,299,201
一般正味財産期首残高	176,038,839	191,033,885	369,072,724
一般正味財産期末残高	174,603,208	187,170,315	361,773,523
II 指定正味財産増減の部			
特定資産評価損益	0	0	0
指定受取寄附金	0	0	0
一般正味財産への振替額	-1,300,000	0	-1,300,000
当期指定正味財産増減額	-1,300,000	0	-1,300,000
指定正味財産期首残高	41,910,263	0	41,910,263
指定正味財産期末残高	40,610,263	0	40,610,263
III 正味財産期末残高	215,213,471	187,170,315	402,383,786

財 産 目 録

令和7年(2026年)3月31日現在

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金及び預金	現金手持有高	運転資金	41,043
	普通預金 りそな銀行 本郷支店	同 上	13,213,666
	普通預金 りそな銀行 本郷支店	同 上	524,886
	普通預金 りそな銀行 本郷支店	同 上	135,599
	普通預金 りそな銀行 本郷支店	同 上	189,689
	普通預金 りそな銀行 本郷支店	同 上	990,407
	普通預金 りそな銀行 本郷支店	同 上	1,589,200
	普通預金 りそな銀行 本郷支店	同 上	2,939,312
	普通預金 りそな銀行 本郷支店	同 上	105,750
	普通預金 りそな銀行 本郷支店	同 上	244,495
	普通預金 りそな銀行 本郷支店	同 上	730,217
	普通預金 りそな銀行 本郷支店	同 上	341
	普通預金 りそな銀行 本郷支店	同 上	1,297,877
	普通預金 みずほ銀行 四谷支店	同 上	66,545
	普通預金 三菱UFJ銀行 本郷支店	同 上	353,916
	郵便振替口	同 上	255,174
	郵便通常貯金	同 上	83,436
	paypal	同 上	38,380
	定期預金 三井住友銀行 麴町支店	同 上	736,087
現金及び預金計			23,536,020
(その他の資産)			
前 払 金	山崎ビル 火災保険料		13,520
その他資産計			13,520
流動資産合計			23,549,540
(固定資産)			
基本財産		運用益を公益目的保有財産50% 管理目的50%として使用する	
普通預金	りそな銀行 本郷支店	同 上	12,500,000
定期預金	りそな銀行 本郷支店	同 上	10,281,444
有価証券	1中国電力劣後FR	同 上	88,920,000
	第3回東北電力利払繰延	同 上	94,219,000
	SPICA1905-S08フロート	同 上	38,512,000
	第1回日本生命第5回劣後ローン	同 上	92,826,000
基本財産計			337,258,444
特定資産			
小玉代表基金	定期預金 りそな銀行 本郷支店	助成事業	40,000,000
	普通預金 りそな銀行 本郷支店	同 上	610,263
特定資産計			40,610,263
その他固定資産			
ソフトウェア	ミロク会計ソフトウェア		375,887
敷 金	山崎ビル		907,200
什 器 備 品	パソコン1台		162,700
貸 付 金	貸付型助成金		6,000,000
その他固定資産計			7,445,787
固定資産合計			385,314,494
資産合計			408,864,034
(流動負債)			
未払金	助成者対象助成費		400,000
未払金	第35回日本乳癌検診学会学術総会		1,134,000
前受金	2026年度会費		100,000
学会寄附金前受金	第51日本外科系連合学会学術集会		2,800,000
学会寄附金前受金	52回日本神経内分泌学会学術集会第11回国際神経内分泌学会		350,000
学会寄附金前受金	第14回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会		1,520,000
学会寄附金前受金	58回日本教育学会学術大会		30,000
預り金	源泉所得税		146,248
流動負債合計			6,480,248
負債合計			6,480,248
正味財産			402,383,786

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

重要な会計方針は、次のとおりである

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日、改正令和2年5月15日、内閣府公益認定等委員会)を採用している。

1) 有価証券評価基準及び評価方法

期末日の市場価格等に基づく時価法によっている

2) 消費税等の会計処理

税込方法によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	18,500,000		6,000,000	12,500,000
定期預金	10,281,444			10,281,444
有価証券	323,274,000	16,726,000	25,523,000	314,477,000
小計	352,055,444	16,726,000	31,523,000	337,258,444
特定資産				
小玉代表基金	41,910,263	0	1,300,000	40,610,263
小計	41,910,263	0	1,300,000	40,610,263
合計	393,965,707	16,726,000	32,823,000	377,868,707

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	12,500,000		(12,500,000)	
定期預金	10,281,444		(10,281,444)	
有価証券	314,477,000	0	(314,477,000)	0
小計	337,258,444	0	(337,258,444)	0
特定資産				
小玉代表基金	40,610,263	(40,610,263)	0	0
小計	40,610,263	(40,610,263)	0	0
合計	377,868,707	(40,610,263)	(337,258,444)	0

4 その他有価証券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

その他有価証券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は次のとおりである。

(単位:円)

	種類及び銘柄	取得価額	時価	評価損益
基 本 財 産	1中国電力劣後FR	100,000,000	88,920,000	△ 11,080,000
	第3回東北電力利払繰延	100,000,000	94,219,000	△ 5,781,000
	SPICA 1905-S08	40,000,000	38,512,000	△ 1,488,000
	第1回日本生命第5回劣後ローン	100,000,000	92,826,000	△ 7,174,000
	合計	340,000,000	314,477,000	△ 25,523,000

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
国際交流助成 小規模研究会 助成	公益財団法人 テルモ科学技術 振興財団	0	500,000	500,000	0
合 計		0	500,000	500,000	0

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	1,300,000

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表に対する注記に記載のとおりである。

2 引当金の明細

該当なし。